



すずらん



No.5

文責 梅本裕之

紅組に栄冠

第60回校庭大運動会



昨年と違って、好天が続いた今年の9月。ところが前日は一日中雨で、当日の早朝、氷点下を記録した中での会場準備を余儀なくされました。それでも日中は、きれいな青空にはためく万国旗を見上げた方も多かったことでしょう。9月29日、これ以上ない天気にも恵まれて菅平小・中学校の校庭大運動会が行われました。「絆を深め 心を一つに～みんなの挑戦と努力を輝かせよう～」のテーマのとおり、小学校1年生から中学3年生まで、これまでの練習の成果を十分に発揮し、どの子ども生き生きと輝いていました。



運動会初体験の1年生、大きな声で応援し、短距離走ではゴールを目指してカー杯走る姿が印象的でした。PTAや来賓の皆様、地域の方々にも出場していただき、大いに盛り上がりました。中学生の跳び箱、高学年児童の組体操は、練習では苦労していた技が見事に成功し、満足そうな笑顔、誇らしげな表情がいっぱいでした。他の学年の子どもたちも自分の持てる力を精一杯発揮したので、夜は映像で振り返って楽しんでご家庭も多かったかもしれませんね。

お忙しい中、ご来校いただいたご来賓の皆さま、保護者の皆さま、地域の皆さま、本当にありがとうございました。





快挙！菅小ドリームワークスの活動に「博報賞」



熱い運動会が繰り広げられた先月29日、文部科学省文部科学記者会において菅平小学校の「第48回博報賞 教育活性化部門」受賞が発表されました。奇しくも本校の独立60周年記念式典が行われる11月10日、東京にて博報賞贈呈式が行われます。当日は二重の意味でおめでたい日となりそうです。

9月5日、トウモロコシの収穫と2・3年生による販売の様子を観察した審査委員で前文教大学教授の嶋野道弘氏は、教育雑誌「授業力&学級統率力」で「リアリティの高い学び、問題解決学習になっている」と評価し、「菅小ドリームワークスは将来性の高い会社と言える。発展を望みたい。」と締めくくっています。

地域の多くの方々の助言・指導や支援、トウモロコシを購入していただいたことなどに支えられての受賞です。ここに受賞をご報告するとともに、心より感謝申し上げます。

詳細につきましては、「博報財団」で検索すると、インターネット上でもご覧になることができます。

審査委員の評価ポイント

観光と農業を主とする地域経済の実態をふまえ、全校児童参加によるトウモロコシ販売会社を立ちあげた学習活動である。栽培・販売・広報などの学習活動を実社会の中で展開することで、学習の必然性を高め、児童の学習意欲を継続させることに成功している。小規模校で人間関係が広がりにくいという課題を補うため、学年ごとの役割分担と、縦割り班活動を組み合わせた点、大人とのかかわりによって児童がどう成長したかがよくみえた点が評価された。

既報のように、スキーバザーを10月15日(日)に予定しています。現在、スキー用品等のご寄附をお願いしています。ご協力いただける場合には、13日までに学校へお寄せいただければ幸いです。

※学校だより「すずらん」の内容は、本校ホームページにも掲載予定です。掲載を希望しない内容がある方は、10月13日までに学校(小学校教頭 梅本 裕之・中学校教頭 松田 幸一)へご連絡ください。菅平小中学校 ☎74-2014